

社会人基礎力協議会News



第16号 2024年7月31日発行

1 一般社団法人 社会人基礎力協議会 2024年度活動方針

事務局

昨年度は、弊協議会設立10周年という節目を迎えました。10年を振り返り、「社会人基礎力」の意義を再認識するために、機関誌との合併号として「10周年記念誌」を発行いたしました。若い世代が社会で生きていくために必要な能力として出発した「社会人基礎力」ですが、それは決して若い世代にとどまらず、全ライフステージにおいて必要な力として再定義されています。

IT技術が進み、これまで人の力でやってきた多くのことが、AIによって可能になりました。人が担ってきた職業の多くがAIにとって代わられる、失業者が増える、といった漠とした不安が一方で広がっています。それは本当に不安なことでしょうか。むしろ、人の役割の可能性が広がったと考えることはできないでしょうか。

今年度の年次大会のテーマは、「AI時代を生き抜くための社会人基礎力」です。AIと共存するための「社会人基礎力」について、皆様と考えていけたらと思っております。引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、2024年度の理事会は、新メンバー1名が加わりました。（★マークが新任理事）。

（代表理事 長尾素子）

理事会メンバー役割・所属	氏名
代表理事 拓殖大学	長尾 素子
理事・事務局長 国家資格キャリアコンサルタント	別所 俊彦
理事・グランプリ委員会委員長 公立諏訪東京理科大学	市川 純章
理事・グランプリ委員会 副委員長 東京家政学院大学	金森 敏
理事・研究委員会 委員長 城西大学	栗田るみ子
理事・研究委員会 副委員長 成蹊大学	山崎 紅
理事・リカレント委員会 委員長・副事務局長 富士フイルムビジネスソリューションジャパン（株）	渡邊 明男
理事・副事務局長SMBCコンシューマーファイナンス（株）	三瓶 剛史
理事 拓殖大学 就職キャリアセンター	来田 健
理事・事務局 一般社団法人全日本中小企業連盟	三角 武一郎
理事・事務局 公認会計士・税理士	清松 敏雄
理事 北海道情報大学 経営情報学部	福沢 康弘
理事 九州共立大学 経済学部	森部 昌広
理事・事務局 名古屋大学 博士課程教育推進機構	寺澤 ますみ
★理事 福山大学 大学教育センター	前田 吉広
監事 拓殖大学 商学部	稲葉 知恵子

2 2024年度グランプリ委員会事業計画

グランプリ委員会

グランプリ委員会は、社会人基礎力育成グランプリの企画・運営を行います。社会人基礎力育成グランプリは2006年度に始まり、今年度大会で19回目となります。大会の開催を通して、社会人基礎力の著しい成長を遂げた学生らを表彰するとともに、各大学での社会人基礎力育成への取り組みに関する情報発信に努めます。当委員会のメンバーは各地区大会の実行委員長から構成され、メンバーは各地区の予選大会の運営を担当します。本年も下記に記載する通り、2月に地区予選大会を実施し、3月に全国大会を実施します。委員会では、グランプリの審査方法、審査項目などの見直しを通して、社会人基礎力育成手法の向上を目指します。

グランプリ委員会 主な事業計画とスケジュール（当協議会HPもご参照ください）

2024年度「社会人基礎力育成グランプリ」を行います。全国大会はオンライン開催とします。予選大会はオンライン開催を基本とし、各地区の実行委員長判断で対面での実施も視野に入れています。当協議会からの最新情報をチェックしてください。

<スケジュール>

2024年6月	社会人基礎力育成グランプリ 応募要項公開
2024年11月	地区予選出場校募集受付開始（2024年11月1日～2025年1月10日）
2025年2月	各地区予選大会開催（北海道地区2月11日、東北・関東地区2月18日、中部地区2月16日、近畿地区2月8日、中国・四国地区2月23日、九州・沖縄地区2月24日）
2025年3月	全国大会開催（3月14日）

（委員長 市川純章）

グランプリ委員会 各地区運営体制（敬称略）

GP北海道地区 実行委員長	北海道情報大学 経営情報学部 福沢康弘
GP東北・関東地区 実行委員長	東京家政学院大学 現代生活学部 金森 敏
GP中部地区 実行委員長	名古屋産業大学 現代ビジネス学部 今永典秀
GP近畿地区 実行委員長	京都芸術大学 芸術学部 吉田大作
GP中国・四国地区 実行委員長	松山大学 経済学部 松本直樹
GP九州・沖縄地区 実行委員長	九州共立大学 経済学部 森部昌広



社会人基礎力をテーマとした研究活動の促進を目指して

研究委員会では、年次大会での研究委員会セッションに加えて、今年度も研究会（2回程度）を計画しております。年次大会でのセッションでは、2024年3月に発行した機関誌『社会人基礎力研究』第5号に掲載させていただいた論文の発表セッションに加えて、社会人基礎力をテーマとした研究の可能性についてみなさまと議論する機会を予定しています。

研究会では、社会人基礎力をどのように研究するのか、“研究”の視点から、改めて、社会人基礎力を活用する意義などについて、みなさまと議論を深める機会となるよう、テーマの選定等を進めております。詳細が決まりましたら、HP等で広報いたしますので、今しばらくお待ちください。

また、研究活動を促進することを目的に、2020年から発行している機関誌『社会人基礎力研究』のアーカイブ公開の準備を進めております。社会人基礎力の研究による知見をより多くの人に利活用いただき、実践事例の増加に加えて、エビデンスとなる研究活動も促進できるように、研究委員会としても事業を展開して行きたいと考えております。

主な事業計画とスケジュール（予定）

- 2024年7月 ニュースレター第16号発行
(2024年度 当協議会方針説明他)
- 2024年8月 年次大会での研究委員会 セッション
機関誌掲載論文に基づく研究発表2件のほか、
参加者とのディスカッションセッションを予定
- 2024年9月 2024年度 第1回研究会（予定）
※後日、詳細はHPにてご案内いたします。
- 2024年11月 ニュースレター第17号発行
(2024年度 年次大会レポートなど)
- 2024年12月 2024年度 第2回研究会（予定）
※後日、詳細はHPにてご案内いたします。
- 2025年3月 ニュースレター第18号発行
(社会人基礎力育成グランプリ大会報告他)
機関誌『社会人基礎力研究』第6号発行
(委員 黒田友貴)



ニュースレターは今号で第16号
2019年第1号発行以来
6年目に入りました。



機関誌「社会人基礎力研究」は
今年で第5号、社会人基礎力協議会が
2023年度に10周年を迎えた記念号として
発行しました。第6号の投稿も募集中です。
本ニュースレター最終ページを参照ください。

4 2023年度 リカレント委員会事業計画

「新しい資本主義」の時代の現在

令和6年6月21日、「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 2024 改訂版」が閣議決定されました。そこには、人類は歴史上大きなパラダイムシフトに直面していると記載されています。昨年からの継続課題のひとつに、「人への投資」つまり働き手のリ・スキリングによる労働生産性の向上が強く指摘され、かつ喫緊の課題とされています。

社会人基礎力を高めて人生100年時代を生きる

「省力化・合理化」、「情報化（IT化）関連」、「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」と、働き方は大きく変化しています。既に「一人ひとりが自らのキャリアを選択する」時代となりつつあります。人生100年時代に入り就労期間が長期化する一方で、様々な産業の勃興・衰退のサイクルが短期間で進む中、誰もが生涯を通じて、自身を振り返り、「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」「どう活躍するか」その時代に沿った社会人基礎力の獲得に努める必要があります。

リカレント委員会では、個人・企業を問わず、社会人基礎力を高めるための事例を紹介し、これまでの意識を変え行動に移す人材の育成を目指しています。



人生100年時代の社会人基礎力

主な事業計画とスケジュール（予定）

リカレント委員会は、偶数月（4、6、8、10、12、2）開催のフォーラム（講演とディスカッション）を6回開催します。そのうち8月は年次大会の中で事例紹介します。2024年度のこれまでの開催実績と今後の計画は以下のとおりです。

- 4月20日（土） 株式会社ソアシステム代表取締役、一般社団法人東京中小企業家同友会代表幹事 大脇 耕司 氏
- 6月22日（土） 株式会社 DAYTOLIFE 上田 勝幸 氏
- 8月23日（金） 年次大会
- 10月19日（土） 企業組織事例
- 12月21日（土） 教育系or企業事例（個人/大企業事例）
- 2月15日（土） 教育系or企業事例（個人/大企業事例）（以上、偶数月の第3or4週土曜日10時～12時を予定）

各回ともに、協議会からのテーマに沿った情報展開と、有識者の講演、企業の事例紹介、教育/研修事業のご紹介などを検討しています。4月と6月の実績は、本ニュースレター最終ページにて詳細をレポートしていますのでご覧ください。

(委員長 渡邊明男)

全国私立大学就職指導研究会主催「第38回企業と大学の就職セミナー」実施報告

2024年5月10日、新宿区京王プラザホテルにて「AI時代と社会人基礎力 ～学生指導・人材育成のヒント」をテーマに、日本マイクロソフト株式会社の宮崎翔太氏とともに登壇しました。

前半でAIが職場や教育現場でどのように活用できるかについて、宮崎氏が発表、後半でAIと共存するために必要な「社会人基礎力」についてお話ししました。フロアーからは、大学現場では学生に指導する前に、教職員こそが「社会人基礎力」を身に付ける必要があるのでは？といった厳しい意見も聞かれました。「社会人基礎力」は、若者だけに必要な「初歩的」(“Basic”) な力ではなく、それぞれのライフステージで必要な“Fundamental”なもの、といった考え方が共有されたのではないかと思います。

ますますIT技術が進み、人の役割が再定義されるなか、「社会人基礎力」の意義はより一層大きくなることは間違いありません。本研修は、会場の皆様とともに、「社会人基礎力」の重要性を改めて認識する時間となりました。
(代表理事 長尾素子)

参照：全国私立大学就職指導研究会HP「第38回 企業と大学の就職セミナーのご報告」記事
<https://zensyuken.jp/2024/05/38-1.html#more>

**豊島区立明豊中学校の教員向けワークショップの実施報告**

2024年6月26日、豊島区立明豊中学の教員約20名に対し、「社会人基礎力」をテーマにワークショップを行いました。本ワークショップは経産省からの紹介がきっかけで依頼され、協議会代表の長尾と理事の寺澤で担当しました。

教員の皆さんが、「社会人基礎力の理解を深め、日々の教育活動に活かすヒントを得る」ことを目標に、前半は社会人基礎力についての講義、後半は教員間のワークショップを行いました。ワークショップでは、グループごとに、人生110年ともなる時代を生き抜くために必要な社会人基礎力を改めて考え、なぜそれが必要かを議論し発表してもらいました。教員間の議論は大変活発に進み、リラックスした雰囲気の中、発表まで無事終了しました。

終了後のアンケートでは「教員自身の社会人基礎力を向上させることが重要」「人生110年を生きる生徒の将来のため、中学生時代に教えるべきことは何かを考えるきっかけとなった」等のコメントをいただきました。本活動を通して、教員が自身の教科の授業を行う際、あるいは学校行事を行う際に、社会人基礎力の大切さを意識しながら生徒たちに接することで、生徒自身の社会人基礎力の育成にも繋がって欲しいと考えています。

(理事 寺澤ますみ)



明豊中学校ワークショップの様子

6 2024年度 社会人基礎力協議会主催 年次大会オンライン開催します

社会人基礎力協議会では、社会人基礎力に関する産官学の対話の場として年次大会を開催しています。昨年は「社会人基礎力の未来を語る」をテーマに多くの方々のご参加をいただきました。産業界、教育界、関連省庁など、様々なお立場の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

本年度も、さらなる活発な対話、気づきの場として年次大会を開催いたします。

開催概要

テーマ：「AI時代を生き抜くための社会人基礎力」

変化の激しいAI時代に求められる「社会人基礎力」とは何でしょうか。経済産業省によって社会人基礎力が掲げられた2006年から18年が経過しました。この間に人生100年時代の到来により社会人としての活躍の期間がのび、コロナの影響で働き方も大きく変わりました。これからのAI時代を担う人材に求められる社会人基礎力とは何か、改めて考えるときに来ていると思います。

本大会の登壇者及び参加者が対話を通してともに考えていく機会としたいと思います。



開催日時：2024年8月23日（金）15:00-18:30（WebEXによるオンラインイベント）
参加者には、お申込後に WebEX の情報をお知らせする予定です。

受付開始：7月22日より受付開始
<https://forms.gle/fURgVuR7Dm7SvoDdA>

問合せ先：大会実行委員長 渡邊明男（リカレント委員長・副事務局長）
jimukyoku@biz100.org

**2024年度 年次大会プログラム概要**

登壇者及び、詳細な時間は現在調整中です。詳細決定次第、協議会ホームページよりご案内いたします。今年度は、事例発表に対する質問時間や、終了後の相談会・質問会を設けるなど、ご参加の皆様からのご質問にお答えできるようにしております。

奮ってご参加お願い申し上げます。

4月フォーラム

2024年4月20日(土) 10:00~12:00 (Webexによるオンライン開催)

テーマ: 「人生にむだな経験は無い! 人に生かされ、人を生かす経営とは?」

講師: 株式会社ソアシステム代表取締役、一般社団法人東京中小企業家同友会代表理事
大脇 耕司氏

プログラム

1. 講演「人生にむだな経験は無い! 人に生かされ、人を生かす経営とは?」

2. ブレイクアウトセッション: グループに分かれて意見交換

主なご講演内容

人に生かされ、生かす環境の実践の軌跡をたどると、①経営者の経営姿勢の確立 責任とビジョン、社員との信頼関係を築くことが出発点となり、②経営指針の成文化とその全社実践の重要性を知り、③社員をもっと信頼できるパートナーと考え、高い次元での団結をめざし、共に育ちあう教育(共育ち)を重視するようになる。また、④経営を安定的に発展させるため、外部経営環境の改善にも労力が力をあわせていくことを実践している。人に影響され、生かされた人生をこれからどう生きるか。様々な選択を経て人の影響と自分の条件を勘案し選んだ道で全力を尽くすことが最善の策である。それが自分と周りの成長を促すすべてがポジティブになる。

6月フォーラム

2024年6月22日(土) 10:00~12:00 (Webexによるオンライン開催)

テーマ: 「『日本で一番ひとが育つ会社』を本気でめざす"人事制度改革"」

講師: 株式会社DAYTOLIFE 執行役員 経営管理本部長 兼 経営企画室長 兼 人事部長
上田 勝幸 氏

プログラム

1. 講演「日本で一番ひとが育つ会社」を本気でめざす"人事制度改革"」

2. 質疑応答(多数の質問が寄せられました)

主なご講演内容

人事制度を改革するにあたり、原点はキャリアデザインスキル向上にあることに注目。そのため、なりたい自分になるための自律的キャリア開発の提示、努力や行動をデータベース化し継続的なサポートをおこなう。さらに、多様なキャリアコースを新設する。人的資本経営の実現として、産学連携(インターンシップに注力、キャリア教育は学生のときから始まると痛感)、社内研修制度、ジョブローテーション制度、自己啓発支援制度をベースにキャリア教育をおこなう。加えて個人の成長を基軸としたハンドメイドの人事評価制度をプラスし人事情報としてデータベース化し、その結果を組織戦略へとつなげていく。従業員のキャリア教育を主軸とし、人事を科学的にアプローチする。徹底的に従業員一人ひとりと向き合い、個々の力を最大限に引き出すことで人材育成、自律的なキャリア支援制度に取組む。そして日本でいちばん"ひと"が育つ会社を目指す。

(委員長 渡邊明男)

8 協議会機関誌「社会人基礎力研究」投稿論文募集中

2024年度の協議会機関誌「社会人基礎力研究」(第6号)の投稿論文を募集中です。「社会人基礎力研究」は、社会人基礎力協議会における研究活動を広く世に問うことを目的として、年1回発行しているものです。会員の皆様の投稿をお待ちしております。詳細は、社会人基礎力協議会HPの「『社会人基礎力研究』投稿論文募集のご案内」をご参照ください(下記QRコード)。

募集概要

原稿種類: 研究論文、研究ノート、事例報告、評論、その他、研究委員会が認めたもの(いずれも社会人基礎力関連テーマ)

投稿資格: 原則として会員、共著の場合は執筆者に1人以上会員が含まれていること

(会員以外からの投稿は会員の推薦をもって認める)

提出方法: 社会人基礎力協議会研究委員会にメールにて提出

件名に「機関誌投稿原稿」、メール内容に責任著者の氏名、所属、電子メールアドレスを記載

宛先: e-mail: kenkyu@biz100.org

締切日: 2024年12月20日(金) 正午まで

問合せ先: 社会人基礎力協議会 研究委員会 e-mail: kenkyu@biz100.org

(委員長 栗田るみ子)

編集
後記

2024年度も、来年2~3月の大会に向けて活動が進んでいます。社会人基礎力育成の重要性への理解と実践を広げるために、多くのチームのご参加による研鑽が欠かせません。関係者各位におかれましては、これまでエントリーしたことがない大学・学部等にもお声がけいただけましたら幸いです。このNewsでは大学や企業における社会人基礎力強化に役立つ情報を取り上げていくために、会員の皆様からの事例情報を随時募集しております。記事へのご意見、取り上げて欲しいテーマのご要望などもお待ちしております。左記QRコードの協議会HP「お問合せ」フォーム、または、下記事務局メールへお気軽にご連絡ください。よろしくお願い申し上げます。

(担当: 研究委員会副委員長 人材開発コンサルタント 山崎 紅)